

フォレストパークあだたら生き物調査発表会2015報告

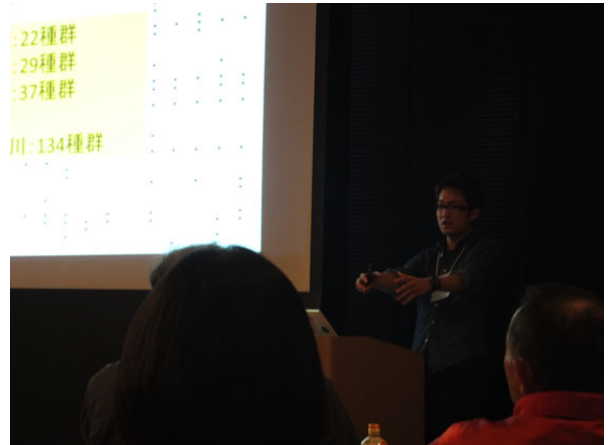
毎年恒例の「フォレストパークあだたら生き物調査発表会」が、12月12日（土）にフォレストパークあだたらのビジターセンター、レクチャーホールにて開催されました。今年度福島県内で実施された学生による研究成果が7題発表されましたが、プロジェクトに参加している院生による調査結果も4題が発表されました。また、今年度までの3年間、フォレストパークあだたらで実施されてきた「あだたら生物クラブ」による「ドングリの実の数調査」から明らかになったことを、クラブの講師を務められた兼子先生から紹介して頂きました。例年同様、立食形式のランチタイムやコーヒーブレイクは参加者と発表者の良いコミュニケーションの場となりました。このような場を提供して下さった公益財団法人ふくしま・エコ・ライフ財団の皆様に感謝申し上げます。



猪瀬礼璃菜(兼子研)「標本はただの枯れ葉じゃない！～シダ植物標本を用いたDNA解析からわかること～」



大平 創(塘研)「福島県裏磐梯地域における河川の底生動物相」



武田悠太(塘研)「酸性河川酸川におけるコオノオナシカワゲラの生活史」



加藤沙織(黒沢研)「ネムノキの花のひみつを探る」



兼子伸吾先生「続けることでわかること—あだたら生物クラブ3年間の活動から—」